

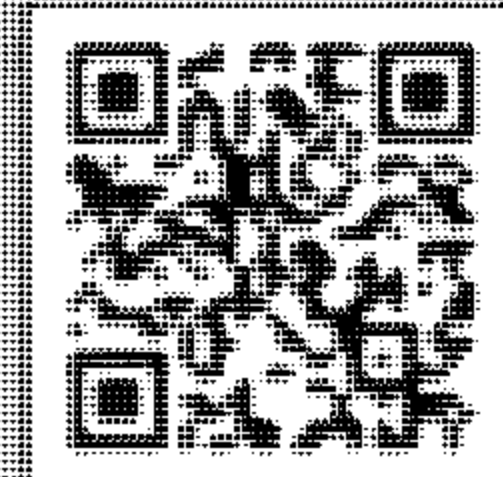
出梅時節、
傲然綻放の藍——

時行の鎌倉時代
までを描いた
コウ・クス長瀬
大崎の完全中巻



第11巻 全1337

公式Twitter&
公式ホームページも
チェックしてね!



逃げ上手の若君

松井優征



「中先代之亂」
已過去兩年

奥州

諏訪○

利根川

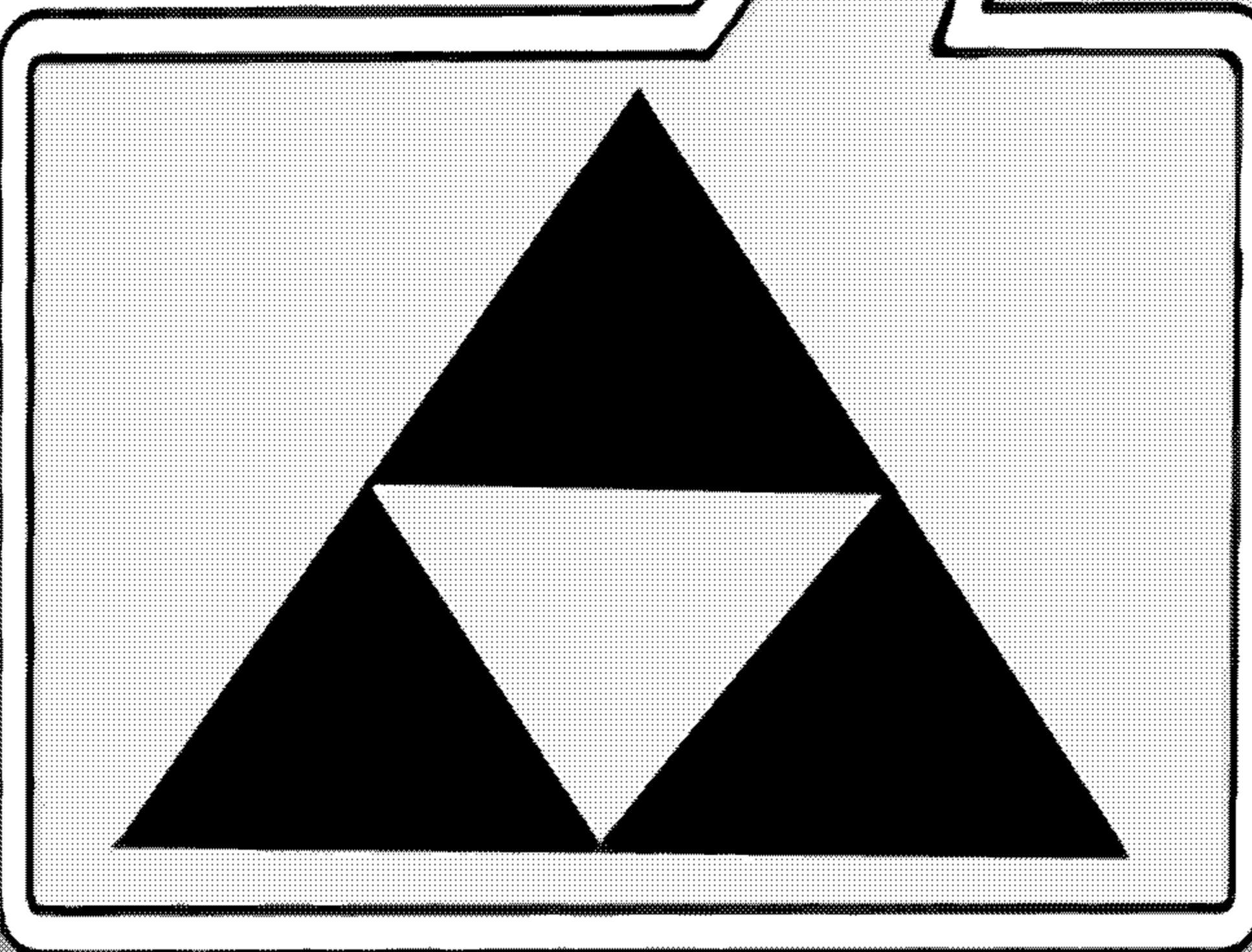
★
少逃竄再大出動

鎌倉○

←京

時行等人
潛伏在伊豆

伊豆



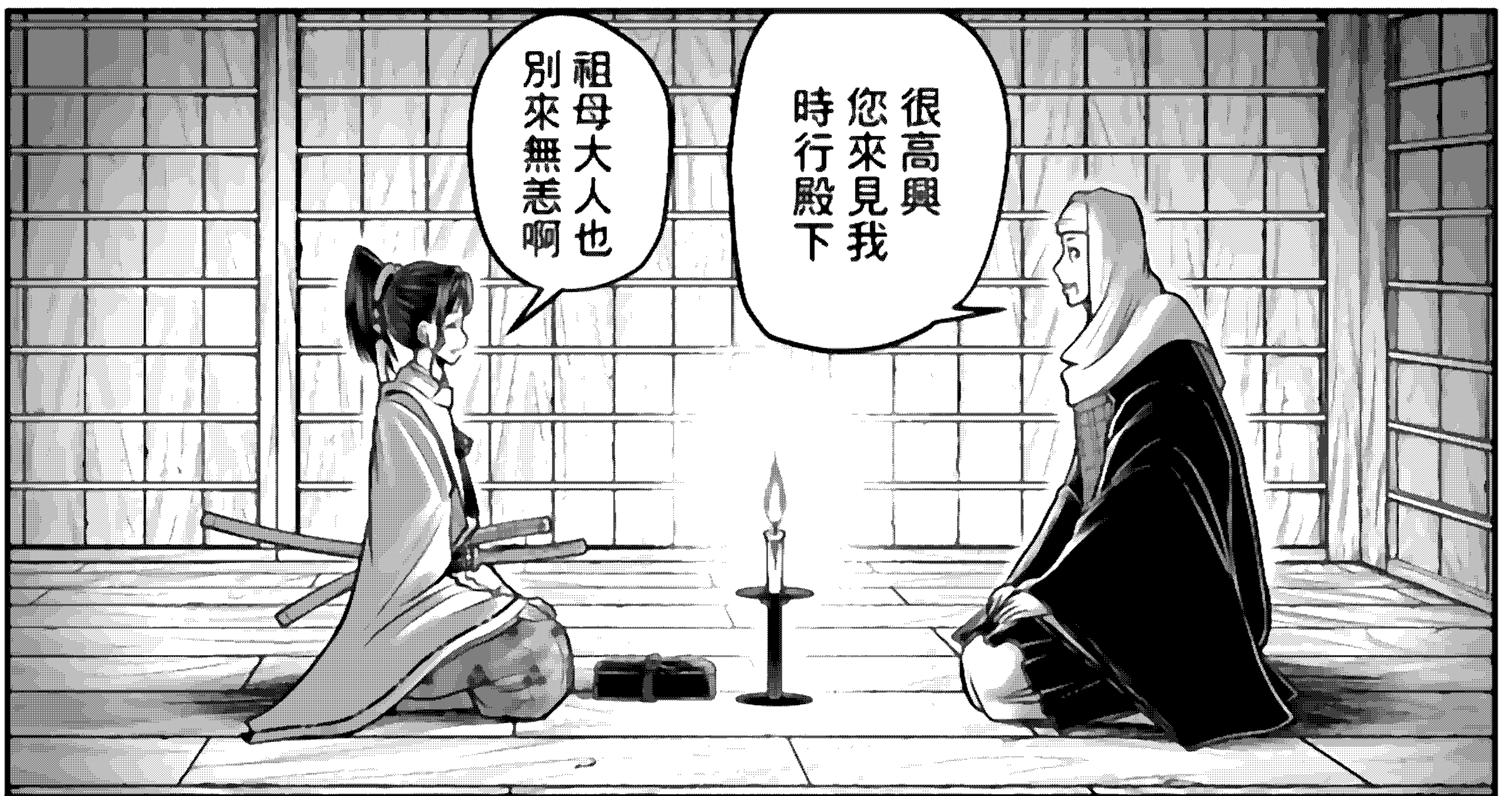
伊豆是
北條氏的
發源地

雖不復
統治地位

卻仍有
許多人暗中
支持著北條







很高興
您來見我
時行殿下

祖母大人也
別來無恙啊



我想請您的熟人
夢窗疏石大人
做個中介

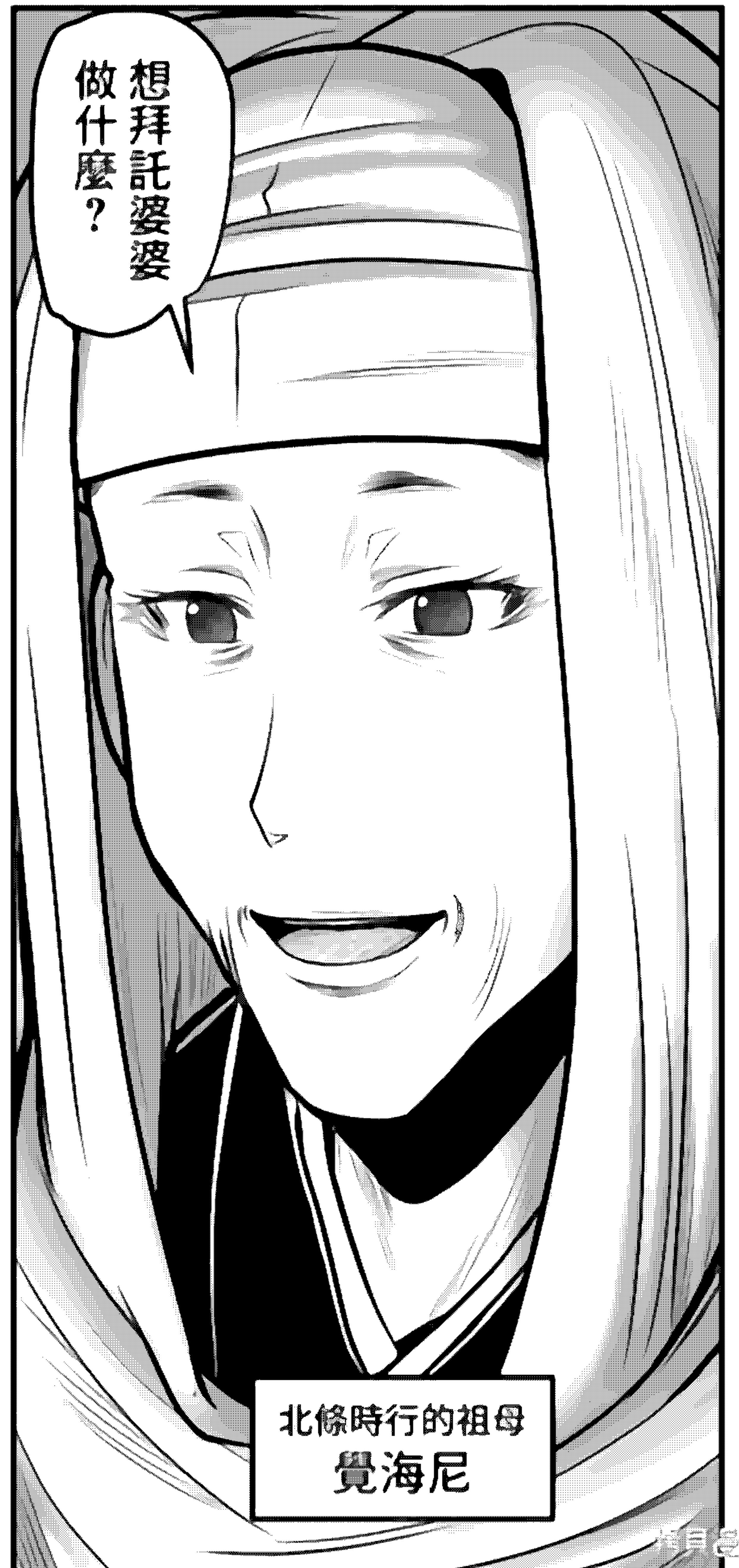
將這封密信
帶給聖上



……
時行殿下

夢窗國師
在南北二帝身邊
皆有門路

您想
交給誰？



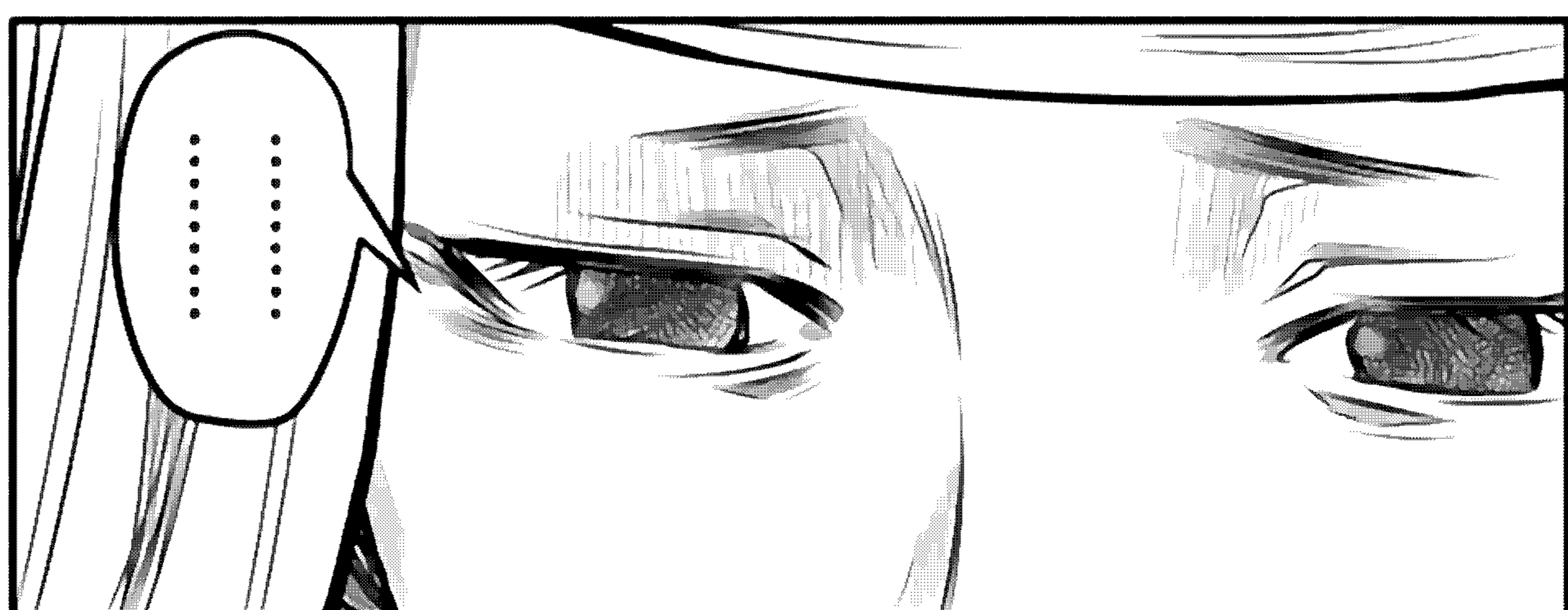
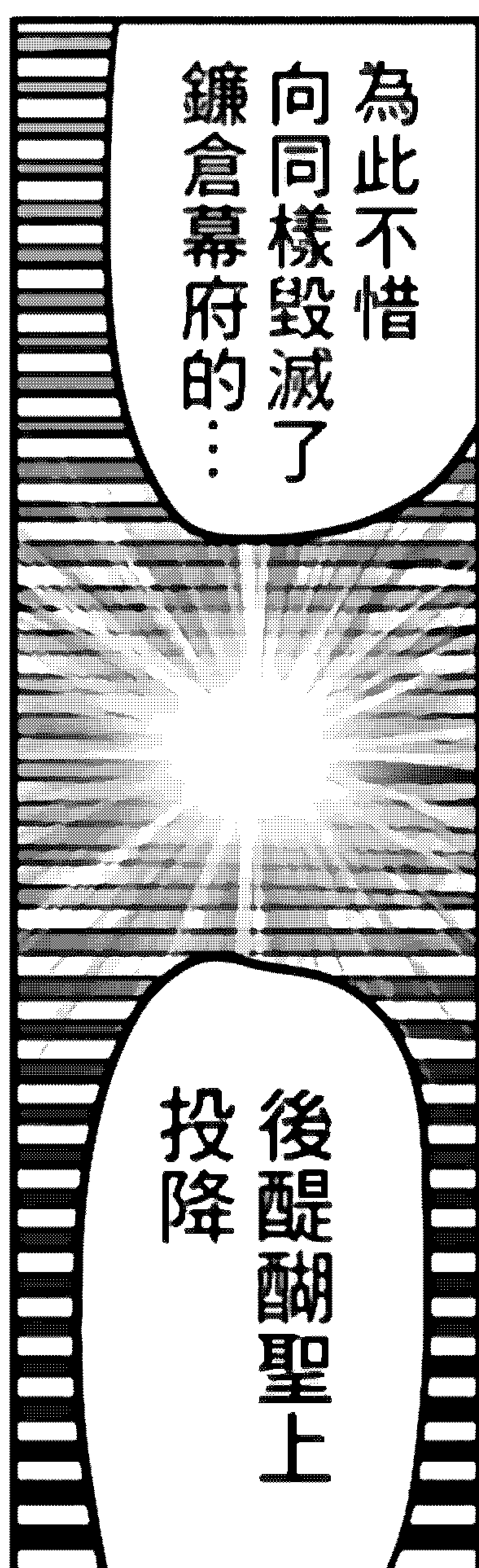
想拜託婆婆
做什麼？

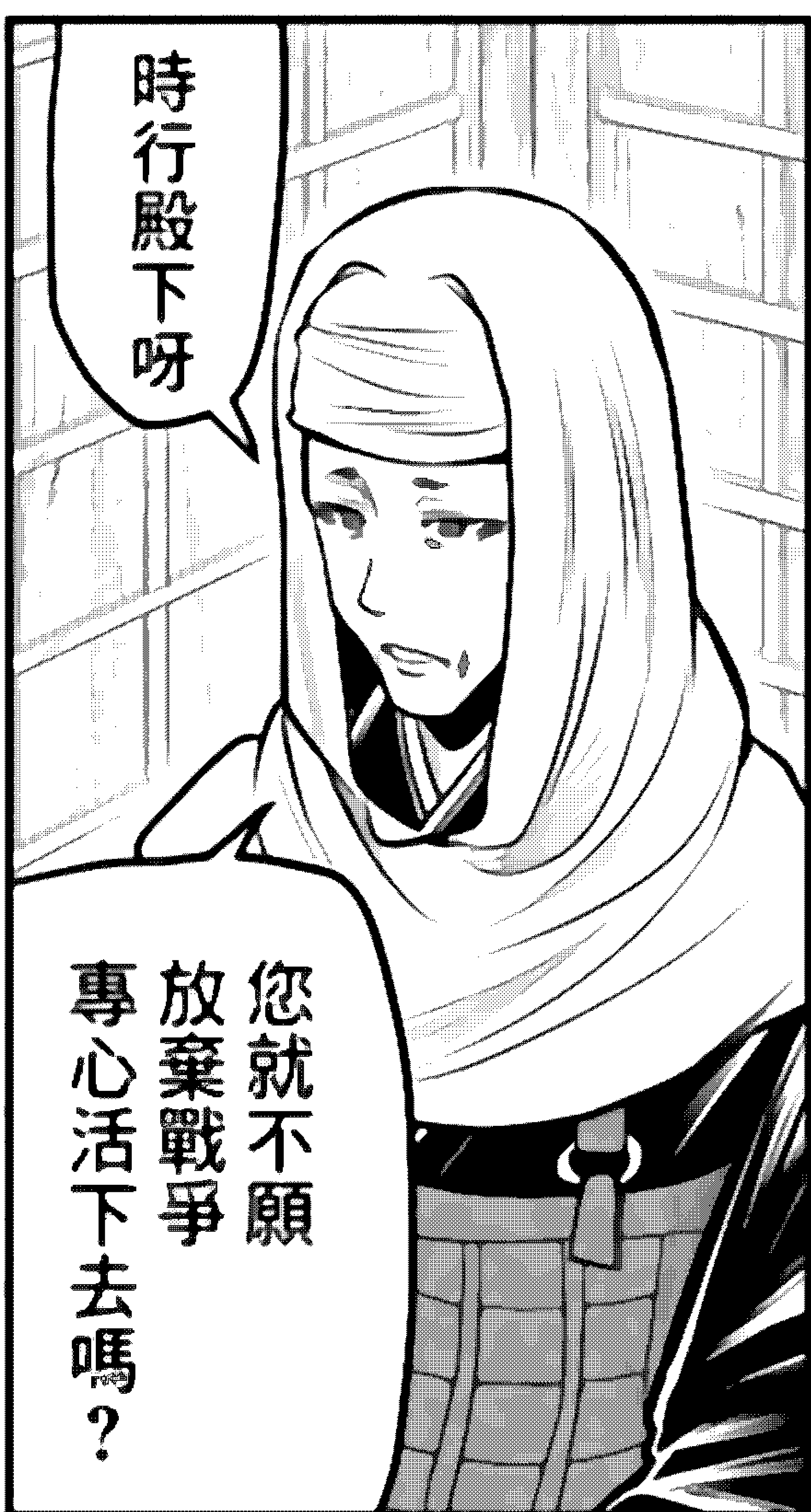
北條時行的祖母
覺海尼



翻譯 我不做人了

@





還請祖母大人
原諒我這個
惹您傷心的
不孝孫子

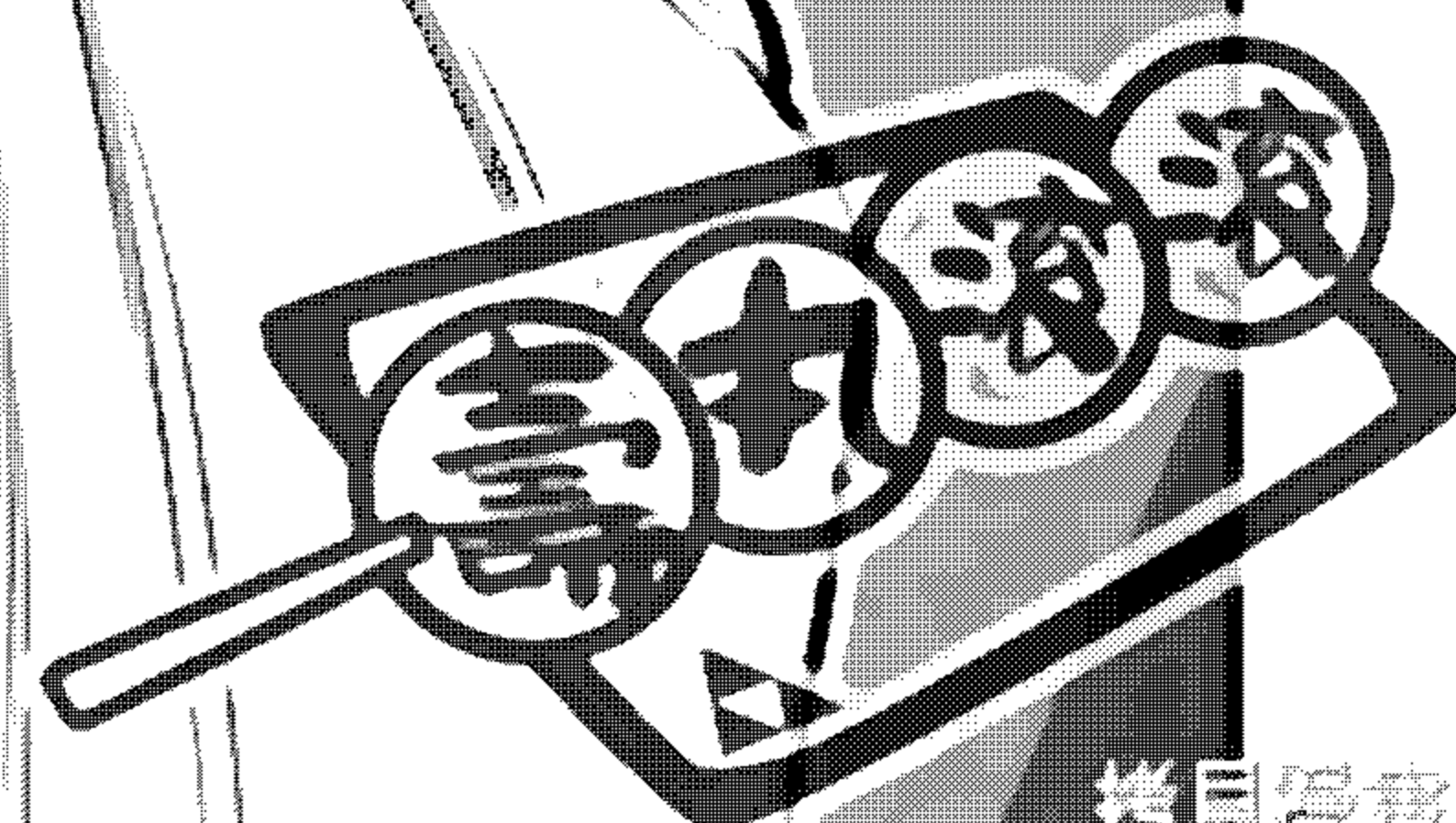
可是

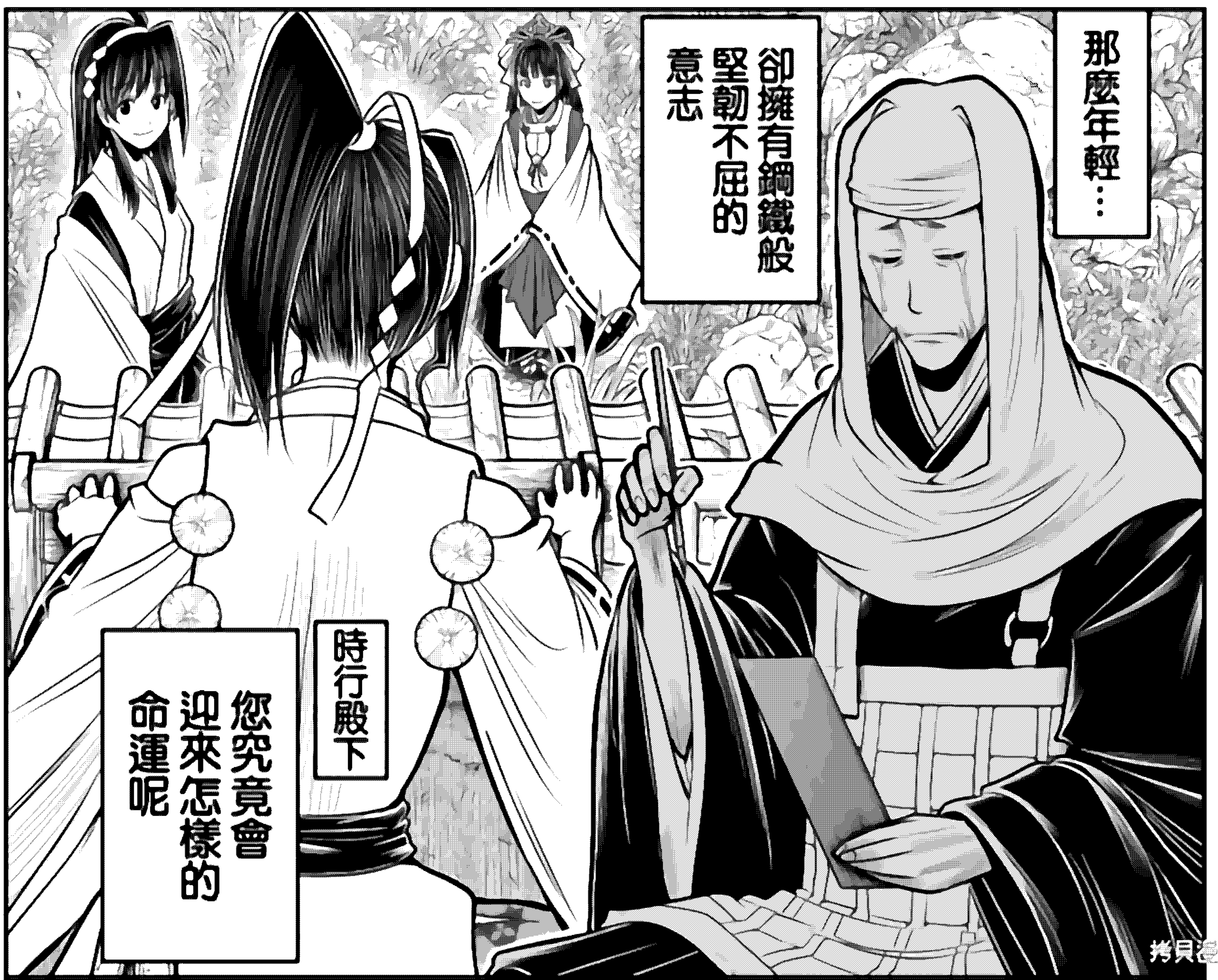
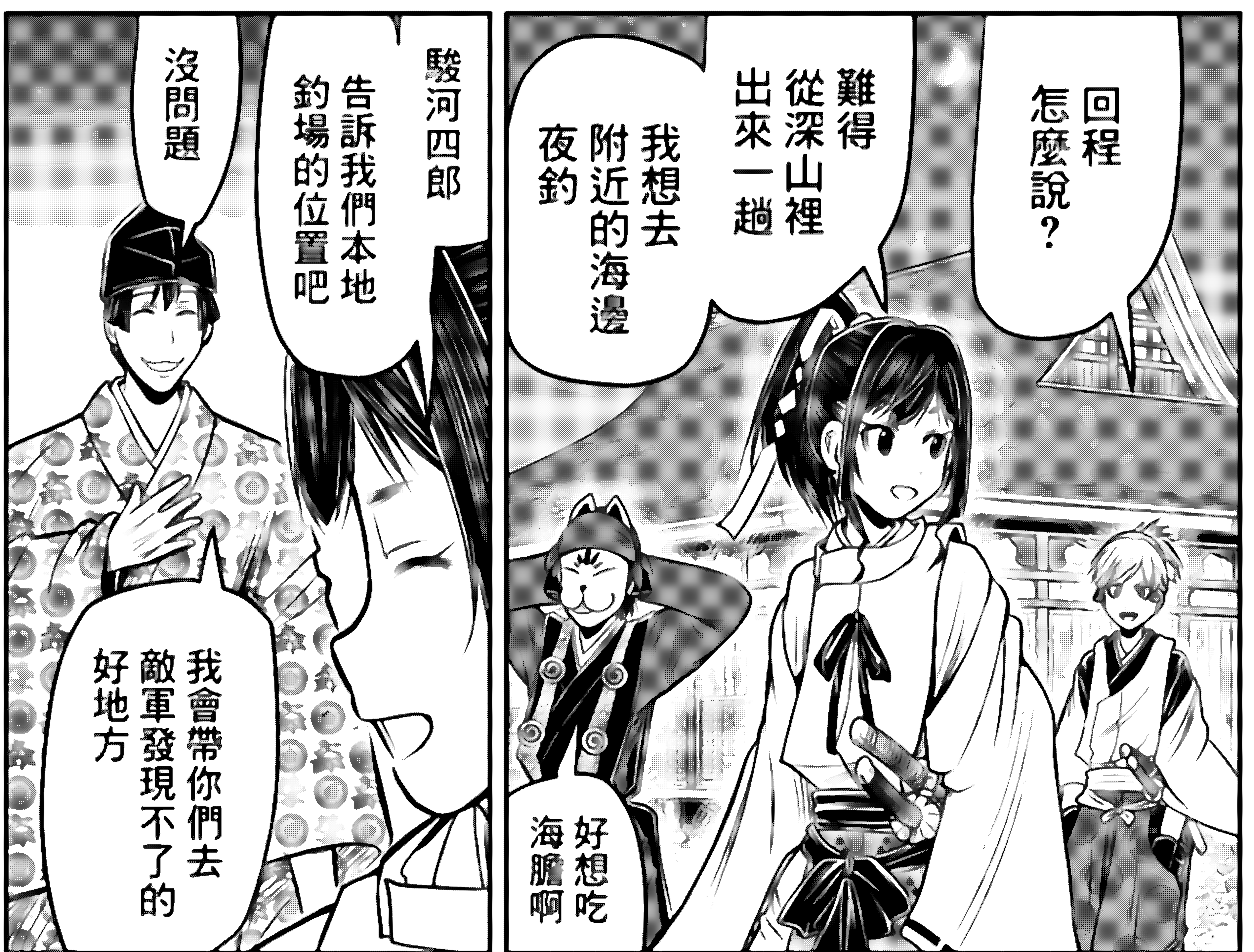
若不去挑戰
我的人生
便和英年早逝
毫無分別

為了替我的
兩位父親報仇

我想
盡全力

去挑戰
那個怪物







※當我反抗時代激流的故事謝幕之際,我將面臨怎樣的考驗呢

吉野

後醍醐天皇
南朝朝廷

父親高時之死
乃聖上的天罰
時行接受
這一事實

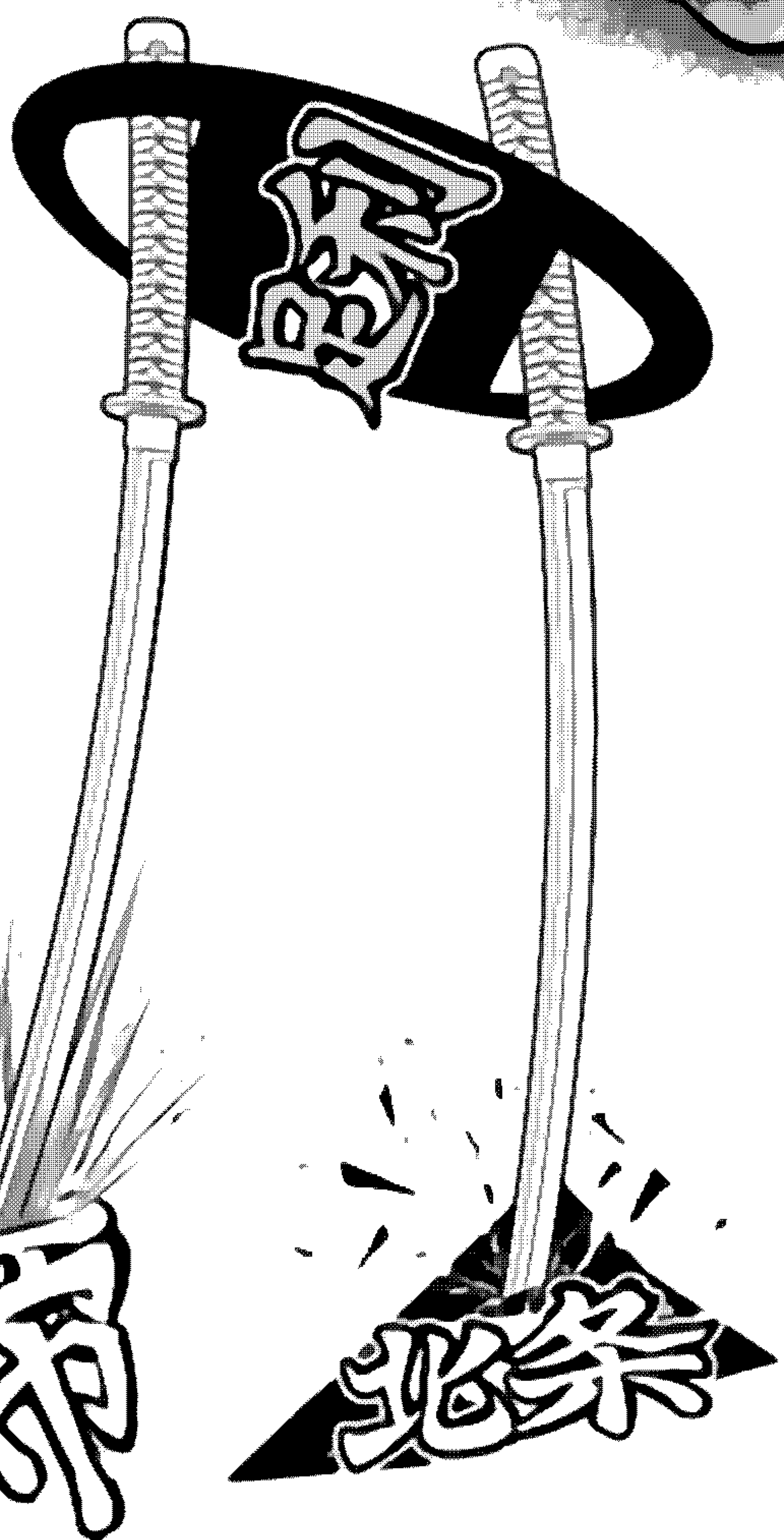
對此
不曾抱有
絲毫恨意

然而

還望您
明鑒時行
對尊氏的
憤怒

不論是北條
還是聖上
都對他
極盡優待

他卻
恩將仇報
同時背叛了
我們



甚至擅自
擁立傀儡帝王

肆意操縱
天下蒼生

我絕不原諒
此等大逆不道
之舉

因此
北條家
今後

將視是利為
唯一的仇敵

望英明的聖上
能夠體諒
這份決意

將我納入
陛下的麾下
為您效力

據「太平記」記載
時行的投降信
寫得十分高明

先是承認
北條的錯誤
而後力捧聖上

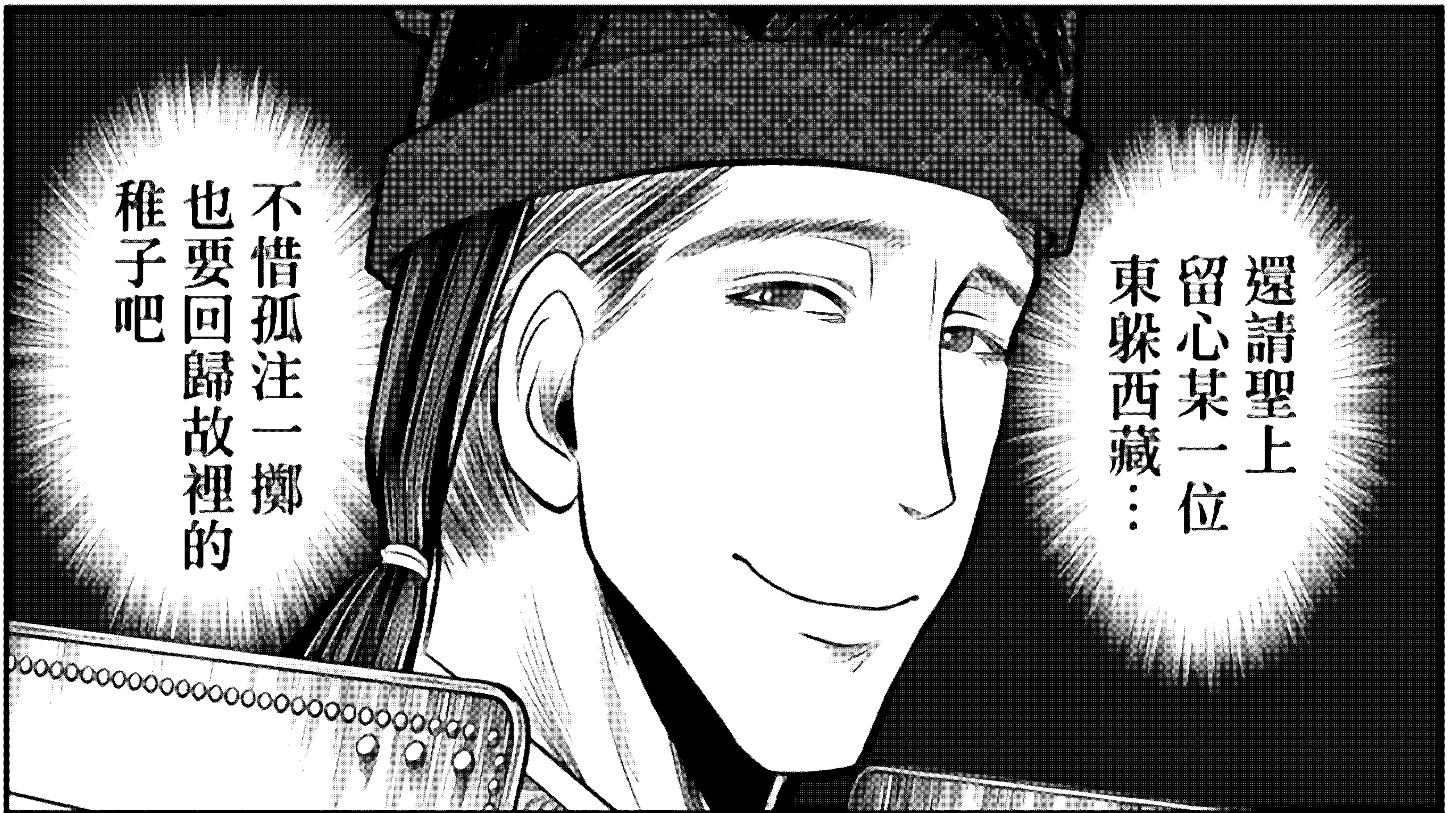
利用典故
和諺語
展開說服

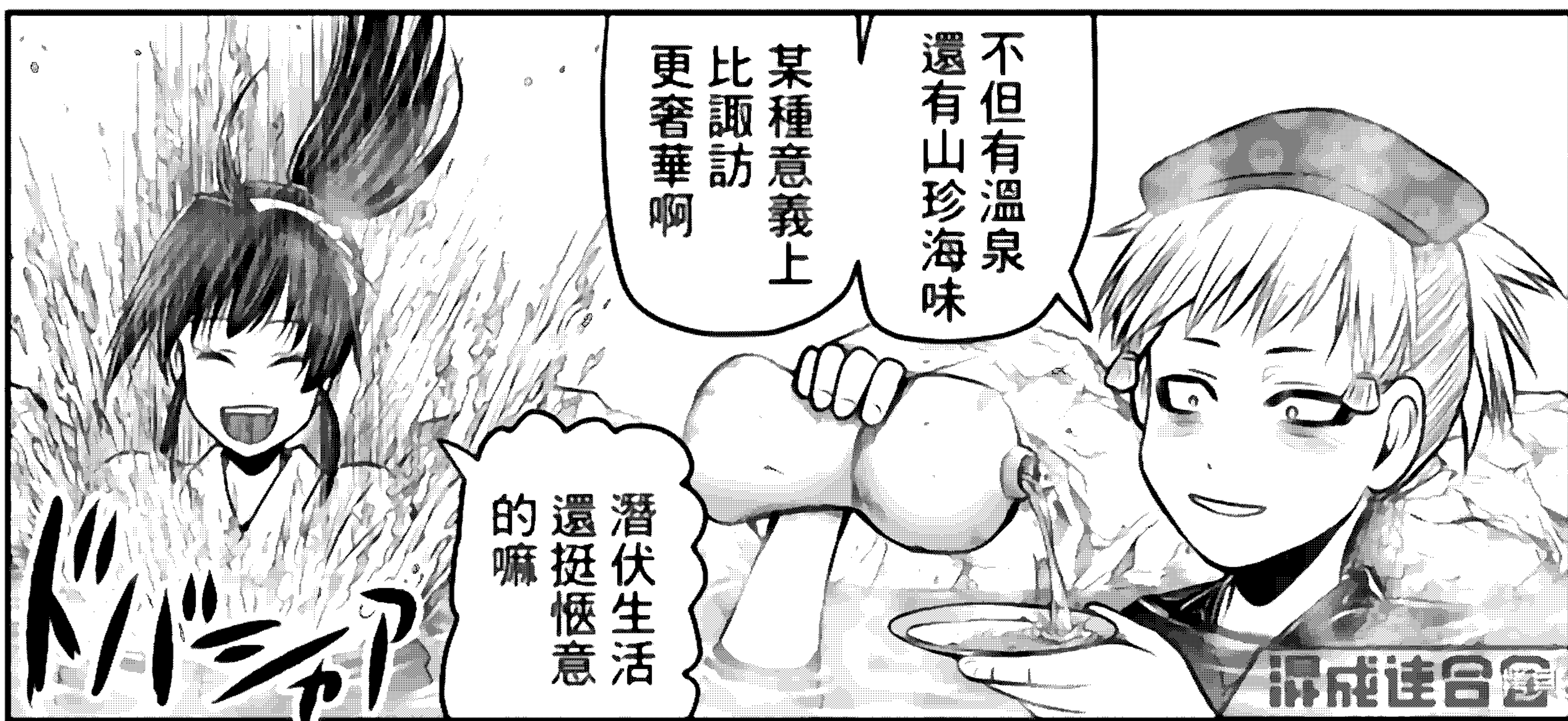
有理有據地
要求聖上解除
北條的逆賊頭銜

：若真是孩子寫的
那麼字裡行間的
素養也好

寄出密信的
時機也罷

他都太過
優秀了







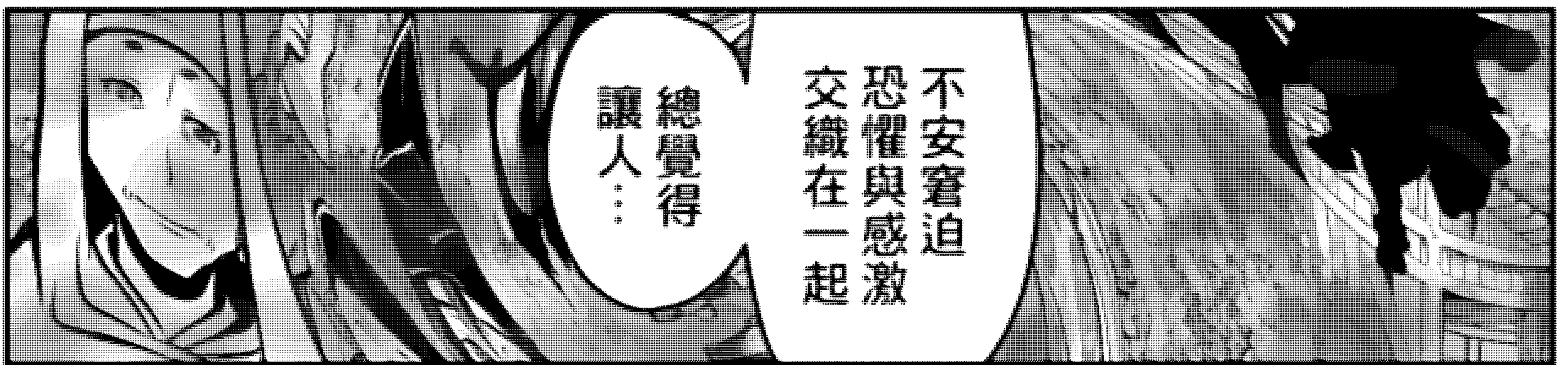
潛伏
真不錯啊



人生地不熟的
狹小隱居之所

提防著
追兵的
每一天

還有願意
幫助我們的
好心人



不安窘迫
恐懼與感激
交織在一起

總覺得
讓人……



欲罷不能

發情的理由
太晦澀了
我無法理解

這兩年他的
變態特質也
越發鮮明了啊

聖上也沒想過
會收到變態的
來信吧……



總
總
總而言之



應該只要一個月
就能等到
後醍醐天皇的
回信了

最壞的情況是
他派人來抓我們



不管是逃生
還是應戰
都要準備得
萬無一失

我們也不是
兩年前的
我們了！

哦哦！



憑你的本事
別說少主了
連我也殺不了

再說
你究竟是
什麼人啊

本以為
你要和敵軍告密
結果你並沒有去

不過

就算你說了
也是白費工夫
我們隨時都能
全身而退

...

在這裡
不遺餘力地
總動員進攻

立刻回京
宣報
我就在此
觀察戰局

本想至少
帶回首級

任由「中先代
之亂」爆發
這麼大的失誤

即使上報了
這些敗將的位置
也沒人原諒我

卻連
最先遇上的
這坨大便都
應付不了

スッ

我的殺人技術是
配合「天狗軀體」
練就的

但那副身軀
只有足利的
工匠才能
製作

我把
所有學到的招數
都練到了極致

怎麼現在卻
依舊如此無力！

對——了

你看起來
體能不錯
來幫我個忙

……
憑什麼？

無妨吧

反正你
殺不了我
也閒得慌

你叫什麼？

……
夏



我從京城
舊物市場上
買到的
謎之炸彈

現在就只剩
這麼一顆了



弧次郎和
亞也子都
完成了
新招數的
開發



而我要從零開始
製造炸彈！

少主的逃亡
只怕會
更加有趣！

★夏與玄蕃即將展開協作！？

少主溜得快

第115話
／本話完

解説上手の若君

時行が潜伏する伊豆。どんな武士が争い、力を持ったのか解説。

解説 本郷和人

1960年、電産生まれ。歴史の研究者である東京大学史料館館長の教授。おっちゃんといわれてテレビや雑誌にも出演する。

当時の伊豆について

問

当時の伊豆にはどんな勢力がいたの？

伊豆国は面積が狭い上に、山や丘陵が多く、農耕に適しません。ですので、1600年頃、同国の石高は7万石余りにすぎませんでした。ただし海産物は豊かで、温泉もある。姿を隠しながら、のんびりと住むには適していたと思われます。田や畑になる土地が少なかったということは、中世武士の居住地としてはあまりお勧めできないということになります。ですので、この地にいた武士というと、藤原南家流の工藤氏とそこから別れた人たちが大半でした。

代表が伊東氏。平安時代末、伊豆第二の武家という伊東氏です。ただし、源頼朝に逆らったため、衰退しました。伊東氏と所領争いを展開したのが工藤氏。曾我兄弟の敵討ちで、当主の工藤祐経（頼朝の近臣だった）が討たれました。子孫は伊東を名乗り、伊豆よりも移住先の日向で繁栄しました。このパターンは他の家でも見られます。他に元は工藤氏であった飯島氏が鹿兒島で、相良氏は熊本で繁栄しました。

この他、工藤流の武士でそれなりに有名なのは、二階堂、岡部、宇佐美、狩野などでしょうか。鎌倉時代の伊豆で大きな力を持ったのは、北条本家です。北条氏は伊豆の在庁（国衙に勤める役人）出身ですが、



大変素晴らしいことですね

よくぞ解説までお読みくださいました

長崎駿河四郎

鎌倉幕府を動かす長崎親子

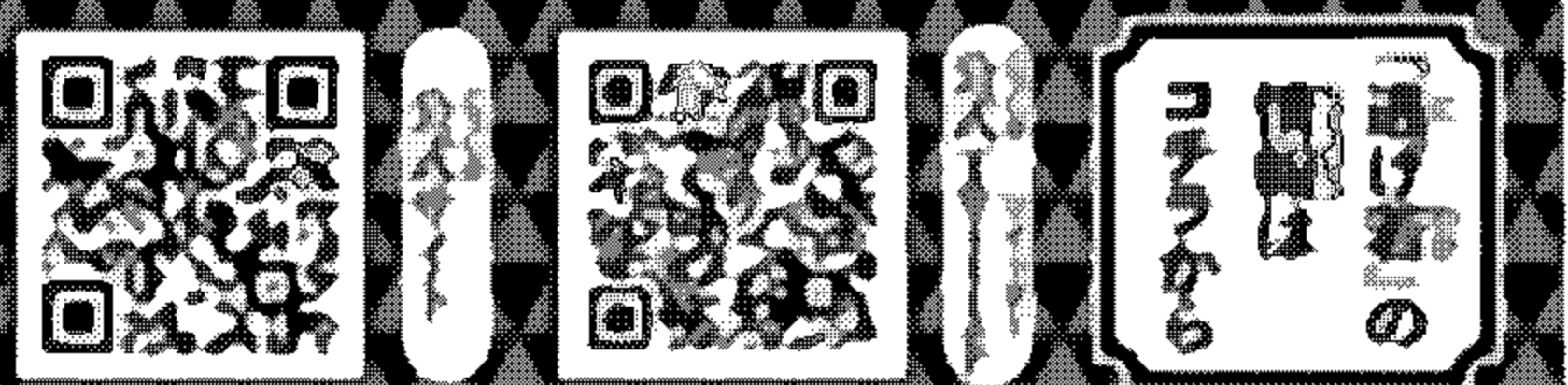
第9代頼朝・北条貞時（時義）の時代、御茶家の執事である内管領に就任した長崎内喜。時義の父・高時を幼少の頃から輔佐し、子の高時と共に権力を握った。



頼朝の時代は、今も鎌倉の歴史公園に頼朝の墓がある。頼朝の墓は、今も鎌倉の歴史公園にある。



鎌倉幕府で力を持ち始めると、伊豆の中小の武士たちを家来化していきます。北条氏が鎌倉幕府で覇権を握るために最もよく働いたのは、北条家に仕えるようになった伊豆の中小の武士だったということになります。逆にいうと、北条本家の力が強かったため、南北朝時代を迎えた伊豆には、有力な武家が育っていなかったのです。他に忘れてはならないのは、北条本家に仕えて「内の管領」（北条氏の第一の家来）を称した長崎氏です。この家の本姓は平。伊豆国田方郡長崎郷（現在静岡県伊豆の国市）の地を得たので、長崎氏を称しました。北条貞時・高時を支えた長崎内喜が有名ですが、幕府滅亡時に本家の人々はみな自害しました。けれども北条時宗の一の郎党であった平頼綱（もちろん、長崎家の人）の弟の重綱の子孫が生き残っていたといわれています。



卷末語

和曆代責編齊聚一堂
辦了一次酒會。

以中野總編為首，
簡直像開重大會議一樣

順位12/20

WJ2023 NO.30

第115話

少主溜得快

翻譯

我不做人了

校對

古々谷殘丘

嵌字

今

監製

今

壽丸滾滾漢化

首發微博

@混成連合會

歡迎加入漢化

測試群

648466051

招募案

首發微博
@混飯連合會
測試群
648466051
(翻譯&嵌字)

翻譯
日語限定
過了測試就行
有2-3輪測試
校對不直接測試
依情況而定

嵌字
細心
會辨別字體
一定空閑時間
且有一定空閑時間
通過測試即可
需基礎可教學
測試時限3個月

混飯連合會